

# わが国唯一の現役双胴高速フェリー「オーシャンアロー」



KUMAMOTO FERRY'S HIGH-SPEED CATAMARAN CAR FERRY OCEAN ARROW

熊本と島原半島を結ぶ熊本フェリーの高速カーフェリー、オーシャンアローは、IHIの開発になる超細長双胴船SSTH (Super Slender Twin Hull) の70メートル級カーフェリーの1番船で、1997年3月起工、同年11月進水し、1998年3月に引き渡された。現在30ノットの航海速力で熊本新港～島原間(21キロ)に就航しており、従来1時間(片道)かかった所要時間を約30分に短縮した。ちなみにSSTHというのは競技用ボートのように細長い船体を連結した双胴船で、船体の細長化により高速航行時の造波抵抗が低下し、主機出力を小さくできるほか、波浪中の縦揺れ性能と曳き波も小さいという特長を有する。1,687総トン、船客定員430名、車両搭載数乗用車51台。青函航路のナツチャンRera姉妹が2008年にリタイアしたので、在来船型以外では、わが国で唯一現役の高速カーフェリーになった。

↑左舷上空からの俯瞰シーン。船客用デッキは2層で、上層デッキの最前部は操舵室になっている。主機は4サイクル高速ディーゼルMTU16V595TE70L型2基、連続最大出力10,676馬力、推進器は固定ピッチ・プロペラ2基である。



↑サイドバーとカウンターバー。下層デッキの中央部分で、舷側にテーブル席とソファ席を設け、好きな場所で景色を眺めながらドリンクを楽しむ。画面右端がカウンターバー。

←同じエリアを右舷側から見たもの。奥のカウンターバーは売店兼用である。右手は上層への階段。

→オープン・デッキ。上層の後部がオープン・デッキになっており、潮風を浴びながら周囲の景観を堪能できる。在来型フェリーを除いて、国内の高速旅客船で航行中にデッキに出られるのは本船だけである。



←下層デッキ最前部の展望エリア。リクライニングシートを配置しており、リラックスして前方を眺めることができる。

→上層デッキ中央のラウンジ。リゾート・ホテルのラウンジをイメージしてアレンジされた。

